



長野県
PRキャラクター
「アルクマ」
©アルクマ

松本糸魚川連絡道路ニュース Vol.7

地域を支える松本糸魚川連絡道路の整備

～長野県大町建設事務所より継続的に情報を発信します～

大町建設事務所では、松本糸魚川連絡道路大町市街地区間の「複数ルート帯案と評価項目の設定」について、5月21日から6月6日にかけて市内6地区で地域の皆さんと意見交換を行いました。主なご意見をご紹介します。



- ▷現在の景観や穏やかな暮らしを望んでいる人もいる。道路の必要性をもっと明確にした上で計画を進めるべき。
- ▷松糸道路は高速交通網がない大町には必要不可欠な道路である。現在の国道は迂回路がなく、災害時には交通がまひしてしまう。丈夫で安心して通れる道路が欲しい。
- ▷大町市街地は2～3分で通り過ぎてしまう。大町に寄ってみたいと思われる道路に。
- ▷立山黒部アルペンルートを訪れる観光客が市街地を通るようなルートにしてほしい。
- ▷東ルートにした場合、景観が良いとの意見があるが、現在の東山からの眺望が阻害されてしまうのではないか。
- ▷農具川は住民が手を入れて保全している。大きな盛り土の道路ができるのは好ましくない。
- ▷東側には道の駅を造る場所がない。

他にも多くのご意見をいただいております。いただきましたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。さらに多くの人のご意見をお聞きしたいため、自治会や各種団体、グループなど、お声掛けいただければ意見交換会を開催いたします。お気軽にご連絡ください。

■問い合わせ 大町建設事務所整備・建築課計画調査係

Tel23-6534(直通) Fax 23-6532 Eメールomachiken-seiken@pref.nagano.lg.jp

4月に開幕した全国都市緑化フェア「信州花フェスタ」は、目標を大きく上回る70万人を超える入場者を迎えて大きく盛り上がり、先月16日、閉幕しました。市内でも、信濃大町駅前広場公園など3カ所のサテライト会場は、花と緑、イルミネーションなどで美しく飾られ、多くの来訪者でにぎわいました。これからも、たくさんのお客様を迎える地域づくりに努めていきたいと思います。

とところで、5月31日、フレンド・プラザ大町で大町防犯協会連合会の総会が開かれました。会議では、地域住民の防犯意識の高揚と相互の連携により、犯罪のない住みよい地域づくりを進めることが話し合われました。こうした地道な活動もあって、近年、犯罪の発生は減少傾向にあります。

一方で、全国的には特殊詐欺や子どもの虐待など、弱い立場の高齢者や小さな子どもが巻き込まれる事件が相次いでいます。5月には、川崎市でスクールバスを待つ小学生の列に男が襲い掛かり、子どもや保護者の方が犠牲になるといって、痛ましい事件が発生しました。

大町市ではこの事件を受け、直ちに青色パトカーを増強して、児童・生徒の登下校時の巡回活動を強化しました。各学校へは、通学時の安全教育の徹底をお願いしました。

さらに、地域で子ども達の安全を守るためには、通学路沿いで、散歩や農作業、買い物途中での「ながら見守り」も重要です。地域の未来を託す子ども達の安全を見守り、健やかな成長を支えるため、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

こんにちは 牛越です

【第112回】
安心安全なまちづくり



大町市長 牛越徹